

Group Me! 生き物・植物編を活用した学習

この学習の考案者：教育学部 梅木信一
 設定：生物学習としての利用法
 対象年齢：小学校教員志望の教育学部生（梅木ゼミ）で実験
 （レポート課題を変えれば、小学生以上から可能）
 人数：約 20-35 名（実験では 20 名で実施）
 所用時間： 45 分
 * 大学授業は 100 分授業なので、以下の学習の後、
 次の 50 分でグループごとに課題に取り組んでいる。



学生の課題 1

下準備：

- ・ Group Me!の生き物カードを使用します。
- ・ グループ数とカードの種類数の選定。まず、希望するグループ数を決めて、さらにその数のカードの種類を選ぶ。（例：20 人を 4 グループに分ける場合、1 種類のカードは、6 枚セットで計 24 枚なので、4 種類のカードを 5 枚に調整して、残り 4 枚を手元に残しておく。）

アドバイス：

- ・ 生物／植物を熟知した参加者が多い場合には、生物名の記載されたカードを抜くと良い。
- ・ 習熟度に合わせて、動物（主に昆虫）、植物（果物、野菜、花）のカードから選ぶ。
- ・ 大学生の場合には、生物名を記載したカードは、生物グループができた段階の正解として各グループに配布し、各グループの生物名を発表してもらうのもよい。

カードの一覧：

生き物:200・300 番台（カード裏に整理番号がついています）

201 カエル 301 モンシロチョウ 302 カイコ 303 ミツバチ 304 カブトムシ 306 バッタ（ショウリョウ） 307 カマキリ（ハバヒロ） 308 セミ（アブラ）
 309 テントウムシ 310 トンボ

植物：400・500 番台

401 ヒマワリ 402 タンポポ（セイヨウ） 404 チューリップ 501 イチゴ 502 カキ 503 キュウリ 504 ナス 505 トマト 506 イネ

授業案：

流れ	内容	時間
導入	配布： カードを無作為に女子／男子のいずれかから先に配布する（男女のバランスの良いグループができる）。 グループ探し： カードの生物ごとに、グループを作るように指示する。もし、生物名が不明な場合、生物名不明なグループも可とする。参加者同士で、積極的に呼びかけて、グループを作るように促す。（コミュニケーション能力の向上） 生き物の名前探し グループができたら、手元に残したカードを生物グループに配布する。この段階で各グループに、「1 種類は 6 枚構成である」と告げる。グループごとにかけ声と共に生物名を参加者に大きな声で告げるように指示する。 さらに生物名不明グループに対して、グループを回って、仲間探しを促す。 各グループに 6 枚のカードが揃ったら、グループ化が終わる。	約 10 分

展開	情報交換： 各グループ内で、自己紹介と生物に係わる思い出などの情報交換を行う。(コミュニケーションの場合)。	約 10 分
	発表： 各グループから、参加者全員に、自己と生物名、各カードのつながりなどを紹介する。	約 15 分
	課題のアナウンス： その生き物をテーマにし、幼児から小学生を対象とした教材について考察する。 (課題は、対象者にあったものに調整してください) グループごとに、課題の役割などを決める。	約 8 分
まとめ	カード返却： 各生物が 6 枚セットになっていることを確認してから、リーダーがまとめて返却する。 挨拶	2 分



学生の課題 2



学生の課題 3